



歩く国際協力「Walk in Her Shoes 2023」

彼女たちの未来を、歩くことで支えよう。

キャンペーン報告書



2023年7月

公益財団法人ケア・インターナショナル ジャパン

もくじ

1. キャンペーン概要と全体総括	2
1) キャンペーン概要	
2) キャンペーンの結果	
3) キャンペーン総括	
2. 協賛、後援 等	8
1) 特別協賛	
2) 協賛	
3) ウォーキング・パートナー	
4) 協力	
5) 後援	
6) 学生パートナー	
3. 広報実績	10
1) 新聞／雑誌、ウェブメディア掲載等	
2) アンバサダー	
3) ジュニア・アンバサダー	
4) 法人向けセミナー	
4. 「好きな時間、好きな場所で歩く」	12
1) 参加者の性別と年代	
2) 申込方法	
3) リピーター率	
4) 参加者の居住地	
5) 「好きな時間、好きな場所で歩く」参加者へのアンケート結果	
6) 「好きな時間、好きな場所で歩く」ウォーキング・パートナーによる歩数実績一覧	
5. ウォークイベントに参加する	19
世界の水問題・ジェンダー課題に向き合う! 「世界水の日」さくらチャリティーウォーク	
【九州限定企画】 歩く国際協力 Walk in Her Shoes 2023 in 九州	
6. 「C」の写真を投稿する	22
7. 自分で企画して寄付を集める	23
「イベントを企画して実施する」	
8. オンラインイベント	28
9. キャンペーン制作物	30
10. 寄付金使用用途	31
ケア・インターナショナル ジャパン活動概要	

1. キャンペーン概要と全体総括

1) キャンペーン概要

歩く国際協力「Walk in Her Shoes¹」は、途上国の女性や女子が水汲みや薪拾いのために毎日歩いている 8,000 歩（約 6km）の道のりを歩くことで、途上国の人々が直面する「現実」「貧困」を体感し、新たな行動へのきっかけとすることを目標に、2011 年度から CARE オーストラリアで始まったグローバルキャンペーンである²。日本では、2023 年で 12 回目の実施となった。本キャンペーンの参加費および寄付金は、途上国や紛争・災害地域において、困難な状況にある女性と女子の自立を支援することで貧困削減を目指す、当財団の活動に充てられる。

【2023 年キャンペーン概要】

実施期間

2023 年 3 月 8 日（国際女性の日）から 5 月 31 日までの約 3 か月間

参加方法

1) 「好きな時間、好きな場所で歩く」（オンライン上での参加）：

お申込み手続き後、途上国で女性や女子が水汲みに要する 8,000 歩（1 日当たりの平均）を目安に歩く。オンライン上で歩数を手動で登録するか、歩数計アプリをダウンロードし歩数を自動連携する方法で参加する（参加者同士でチームを結成し、オンライン上で他のチームの歩数やランキング表示を確認することも可能）。特別協賛企業および協賛企業の協力により、500 歩につき 1 円の寄付となる。

【エントリー費】

一般 1 次募集：3,000 円（2022 年 12 月 12 日～2023 年 2 月 12 日）

一般 2 次募集：3,500 円（2023 年 2 月 13 日～3 月 14 日、好評につき 4 月 26 日まで延長）

リピーター優待価格：2,000 円（1 次募集期間のみ受付）

大学生以下の学生：1,500 円

キャンペーンオリジナル T シャツ：2,500 円（消費税・送料込）

2) 「ウォークイベントに参加する」：

当財団が主催、共催するオフラインイベントに参加する。

・世界の水問題・ジェンダー課題に向き合う！「世界水の日」さくらチャリティーウォーク（参加費 2,000 円）

・歩く国際協力 Walk in Her Shoes 2023 in 九州（参加費 一般 3,000 円、学生 1,500 円）

3) 「『C』の写真を投稿する」（SNS で写真を投稿することで参加）：

CARE の「C」の写真を撮影し、「#歩く国際協力」を付けて、Facebook、Twitter、Instagram に写真を投稿。特別協賛企業の協力により、写真 1 枚あたり 100 円の寄付となる。（参加費 無料）

4) 「自分でイベントを企画する」：

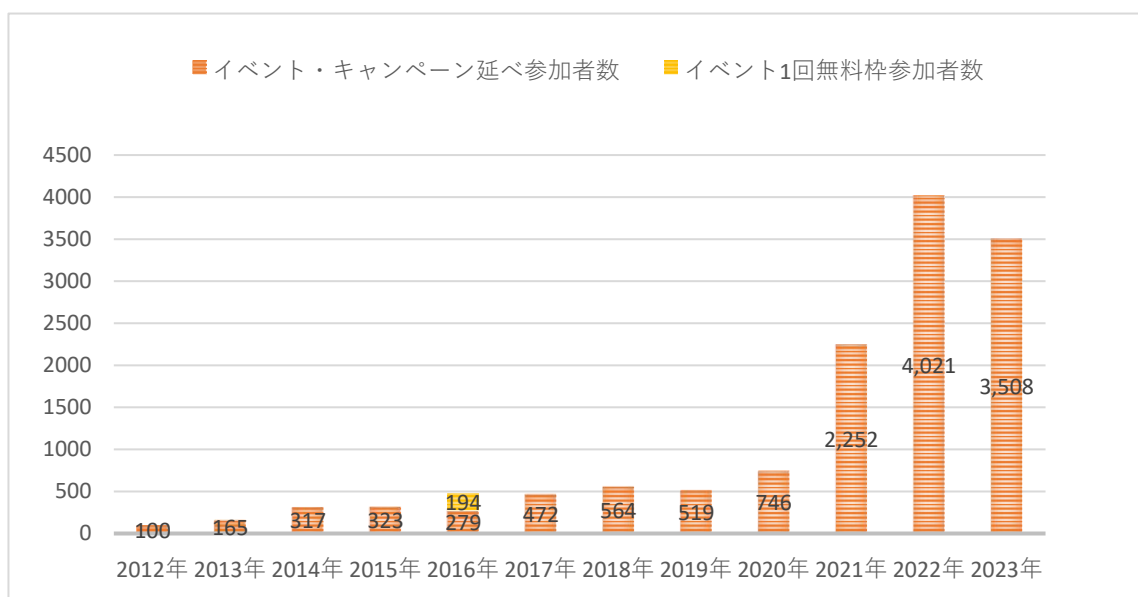
参加者が自らイベントを企画して寄付を集めたり、キャンペーンや世界の水問題・貧困問題について啓発・広報を目的としたイベントを企画、実施する。

¹ 英語で「in one's shoes（その人の靴を履く）」とは、その人の立場になるという意味。

² 2011 年度は、東日本大震災で急遽中止。

2) キャンペーンの結果

【キャンペーン・イベント参加者数推移(2012年～2023年)】



キャンペーン参加者は前年比 87.2%の 3,508 名。

※2016年実績は 2015年 11月東京イベント分も含む

※2018年実績は 2017年 10月東京イベント分も含む

【キャンペーン・イベント参加者内訳】

2023年の参加者内訳		価格種別	実績(有料) (口)	実績(無料) (口)	小計
「好きな時間、好きな場所で歩く」	一般	正規 (1次)	149	/	733
		正規 (2次)	228		
		リピーター	224		
		学生(一般)	74		
		学生(学生パートナー)	58		
	ウォーキング・パートナー	正規 (1次)	1,209		1,911
		正規 (2次)	62		
		リピーター	640		
		アンバサダー／ジュニア・アンバサダー			53
	小計	2,644	53	2,697	
Tシャツ	一般	2,500円	117	/	333
	ウォーキング・パートナー	一括購入2,000円	179		
	支援組織	2,500円	37		
イベント	「世界水の日」 さくらチャリティウォーク		75	7	82
	歩く国際協力 Walk in Her Shoes 2023 in九州		183		183
自分で企画して寄付を集める			136		136
寄付による参加	1,000円		63	/	74
	2,000円		6		
	2,500円		1		
	6,000円		1		
	17,625円		1		
	26,600円		1		
	30,000円		1		
合計			3,445	60	3,505

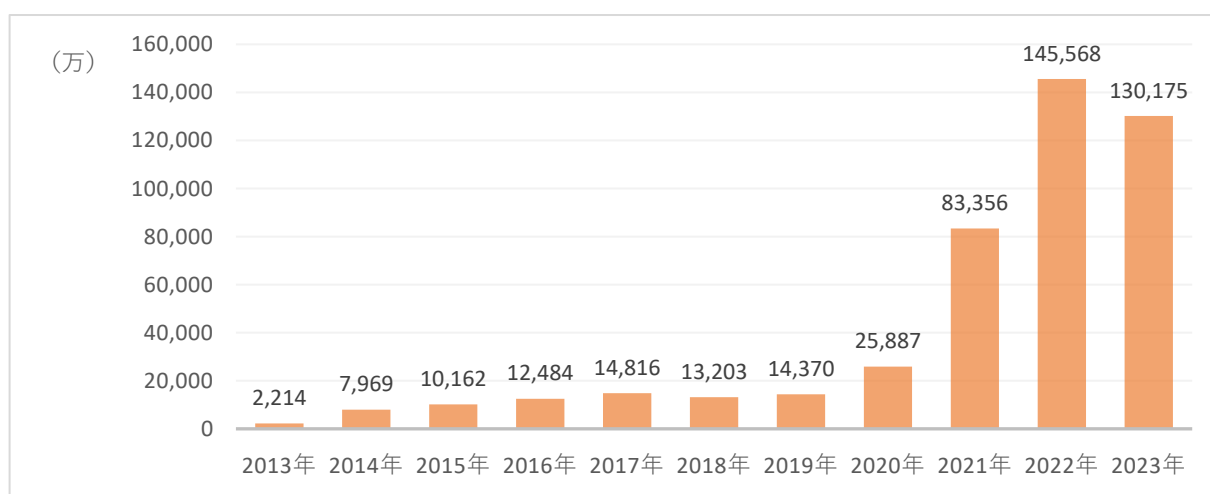
※ウォーキング・パートナーのリピーター人数については、日産自動車（600人）および日産モータースポーツ&カスタマイズ（34人）が全参加者リピーター割引なしでご参加を頂いたため除外（正規として集計）。

※ジュニア・アンバサダーは広告塔として活躍した有志のガールスカウトメンバー。

※「自分で企画して寄付を集める」は、5団体が実施した参加人数の合計。

※「寄付による参加」2,000円は、イベント「世界水の日」さくらチャリティーウォークの欠席者による寄付。また、「寄付による参加」2,500円、6,000円、17,625円、26,600円は自主企画イベントでの寄付。「寄付による参加」30,000円は、イベント「歩く国際協力Walk in Her Shoes 2023 in 九州」での寄付。その他は「好きな時間、好きな場所で歩く」参加者からの寄付。

【歩数報告推移(2012年～2023年)】 ※2023年度目標歩数：15億歩



歩数は前年比 89.4% の 1,301,753,358 歩で、目標の 15 億歩には届かなかった。キャンペーンの「好きな時間、好きな場所で歩く」の参加者数は、昨年度比 89.6% での 2,697 人となった。報告された一人当たりの 1 日の平均歩数は 8,345 歩となり、「途上国で女性や女子が水汲みに要する 8,000 歩」と同等の歩数となった。

【キャンペーン収支 前年度比・対目標比較 (2023年/2022年)】

	2023年	2022年	前年比(数値)	前年比	目標 (数値)	対目標	
収入	物品協賛 寄付相当額	¥888,030	¥1,775,585	¥-887,555	50.01%	¥1,525,000	58.23%
	参加費による収入	¥8,568,905	¥9,912,000	¥-1,343,095	86.45%	¥9,460,000	90.58%
	自主企画+その他寄付	¥137,725	¥168,732	¥-31,007	81.62%	¥200,000	68.86%
	企業協賛金	¥5,400,000	¥5,170,000	¥230,000	104.45%	¥5,250,000	102.86%
	収入合計 (物品協賛除く)	¥14,106,630	¥15,250,732	¥-1,144,102	92.50%	¥14,910,000	94.61%
支出	支出合計	¥3,239,707	¥3,547,843	¥-308,136	91.31%	¥3,837,500	84.42%
	収支差額 (物品提供除く)	¥10,866,923	¥11,702,889	¥-835,966	92.86%	¥11,072,500	98.14%
	ROI (投資対効果)	435.43%	429.86%			388.5%	

「物品寄付 寄付相当額」については、数字上はマイナスだが、商品提供による寄付相当額としては実質的には支援増（昨年度収入には、伊藤忠商事株式会社様による ITOCHU SDGs STUDIO 会場および展示会設営費として 1,075,000 円が含まれたため）。新規個人によるオンライン参加の減少（昨年度比 72.7%）とオリジナル T シャツ購入者の減少（昨年度比 55.6%）により、参加費による収入が減少した。

一方、支出も昨年より減り、ROI（投資対効果）は5.6%増加した。支出の約2/3である220万円が、歩数報告システムの開発運用費と利用料であった。そのほか、Tシャツ制作費が16%（53万）、ウェブ決済手数料が7%（23万）だったほか、オフラインイベント実施による支出も追加された。

【協賛・後援、広報実績前年度比較（2023年/2022年）】

* 「Walk in Her Shoes 2023 in 九州」での特別協賛企業、後援企業数を除く。

		2023年	2022年	前年比 (数値)	前年比
特別協賛	協賛金（30万以上）	9	2	7	450%
協賛	協賛金（30万以下）	6	13	-7	46%
協力	物品サービス提供	9	9	0	100%
後援	広報支援	12	12	0	100%
ウォーキング・パートナー	社員参加促進	21	20	1	105%
学生パートナー	大学生参加促進	4	11	-7	36%
メディア掲載数 (新聞・ウェブメディア等)		6	7	-1	86%

今年から、協賛金によるご支援を、特別協賛および協賛に区分。特別協賛法人には、キャンペーンTシャツに法人ロゴをプリントするなど差別化を図ることで、全体的な協賛金額の増加につなげた。

3) キャンペーン総括

* 個人の新規参加者数減少による、参加費収入および報告歩数の減少

最も力を入れている「好きな時間、好きな場所で歩く」の参加者数については、個人のリピーターが昨年度比134.1%と増加した一方で、個人の新規参加者が大幅に減少（昨年度比58.8%）したことが影響し、全体でも前年比89.6%となった。これにより、報告歩数も減少し、目標未達となった。新型コロナウイルス感染症対策による行動制限が緩和され、活動の選択肢が増えた中、いかに参加者を増やしていくかが今後の課題である。支出を抑え、収益については、昨年度から2年目となる1,000万円台を維持した。

* ウォーキング・パートナーをはじめとした連携企業からの参加・協力

企業連携において、特別協賛、協賛、協力、後援、ウォーキング・パートナーとして、昨年同様多くの企業・団体に協力いただいた（前年比1社増の57法人）。特に、特別協賛枠の新設による30万以上の大口協賛金の獲得のほか、ウォーキング・パートナーの維持・拡大に努めた。ウォーキング・パートナーに関しては、新規で5法人の参加を実現。ウォーキング・パートナー枠での社員参加者数は、昨年度同程度の1,911名となり、「好きな時間、好きな場所で歩く」全参加者の70.9%を占める結果となった。

*今年度の特別企画の実施

今年は、以下の特別企画を行った。

① 歩数と「C」の写真の投稿による寄付の拡充

通常 500 歩につき 1 円、「C」の写真投稿 1 枚につき 100 円になる寄付を、4 月末から 5 月末までの期間中の 16 日間、日付を限定して 100 歩につき 1 円、写真 1 枚につき 300 円の寄付に拡充し、積極的な協力を促進した。

② オリジナルデザイン T シャツ

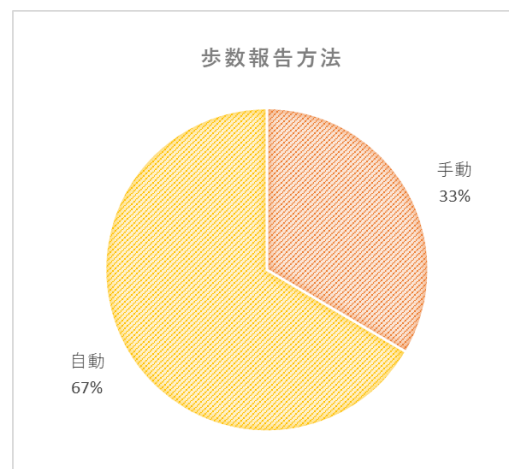
広報・啓発の目的で、特別協賛企業のロゴ（希望した企業のみ）と「Walk in Her Shoes 2023」が入った、2023 年度オリジナル T シャツを制作。今年は綿素材とメッシュ素材の 2 種類から選択できるようにした。また、ウォーキング・パートナーには、特典として、一括購入の場合、割引価格の 2,000 円で提供。結果、333 枚を販売した（前年比 55.5%）。

③ 【寄付が 2 倍】もっと応援チャリティ

キャンペーンへの追加寄付として、寄付額と同額が特別協賛企業からマッチングされる「【寄付が 2 倍】もっと応援チャリティ」を募った。結果、前年比 90%の 63 口（1 口 1,000 円）の寄付を得た。

*歩数報告方法（「手動入力」と「自動連携」）

「好きな時間、好きな場所で歩く」の歩数報告に関して、本年も「手動入力」またはスマートフォン用ウォーキングアプリ ALKOO での「自動連携」のどちらかを、参加者が選択する形式を採用。昨年と同じく、およそ 7 割が、自動連携を選択した。2つの方法ともに、2割程度の参加者が「使いづらい」と回答していることから、システムやマニュアルの更なる改善が求められる。



*定期通信の配信

参加者コミュニケーション促進・改善の一環として、「好きな時間、好きな場所で歩く」参加者向けに月 2 回配信するメールマガジン「WiHS 定期通信」を HTML にて配信。写真などとともに、途上国の水問題やジェンダー課題、CARE の活動情報、キャンペーンに関する情報を提供した。キャンペーン開始から 6 月末までの 7 回の配信のメール開封率は、平均で 57%であった（但し、ウォーキング・パートナーの一括申込者を除く）。

*ライブラン株式会社との協働によるオンラインイベント

同社の LIVERUN アプリは、イヤホンでトレーナーによる生実況を聴きながら、違う場所にいる人々がリアルタイムでランニング、ヨガ、筋トレなどを通じてつながることができるアプリ。

今年も、後援企業として協力いただき、4月22日（土）にコラボレーションイベントを開催。全国各地から156名の参加を得た。当日は、当財団が東ティモールで実施する「農業用水改善事業」のプロジェクト・マネージャーの伊藤洋子が現地より参加して、活動状況や現地の様子を伝えた。また、4月15日（土）と5月14日（日）には、ウォーキング・パートナーとして参加いただいているリコー社会貢献クラブ・FreeWill様のご要望により、同社の参加者向けクローズドセッションを実施した。各回とも約25名の参加を得て、チームの参加促進施策として活用することができた。

*** SNS の活用と、「C」の写真投稿の促進**

キャンペーン専用アカウントで、Facebook、Twitter、Instagram を運用し、期間中投稿を行った。また、「好きな時間、好きな場所で歩く」参加者限定の Facebook グループで、参加者同士の交流を図る場を設けた。

さらに、今年も期間中「寄付金額3倍ウィーク」企画を実施。これは、期間中、「C」の写真を投稿すると、通常の3倍である1枚300円が特別協賛企業からCAREへ寄付されるものである。SNSを通じた無料での参加によるキャンペーン情報の拡散強化を図った。このような取り組みにより、今年は、SNSを通じて、計1,737枚の「C」の写真が寄せられた。

*** キャンペーン協賛金の活用（歩数に応じた寄付、「C」の写真投稿による寄付）**

企業からの協賛金を、参加促進に向けた「寄付付きプロモーション」予算として活用。

以下の通り、4,940,635円分の寄付に相当する参加を得ることができた。

[内訳]・歩数500歩あたり、企業から1円の寄付

（実績）10億4,650万361歩分÷500歩=2,093,000円

・歩数100歩あたり、企業から1円の寄付（100歩1円デー）

（実績）2億4,261万3,536歩分÷100歩=2,426,135円

・写真投稿1件あたり、企業から100円の寄付

（実績）813枚×100円=81,300円

・寄付金額3倍ウィーク 写真投稿1枚あたり、企業から300円の寄付

（実績）924枚×300円=277,200円

・【寄付が2倍】もっと応援チャリティ

（実績）63口×1,000円=63,000円

*** キャンペーン運営の効率化に向けた方策**

参加者が増加傾向にあることを踏まえ、今年は、申込期間を大幅に前倒しして開催した。変更にあたり、個人の既存参加者やウォーキング・パートナーへの周知を丁寧に行い、大きな混乱なく展開することができた。また、法人対応においては、オンラインによる合同参加説明会を複数回開催したり、歩数アプリを提供するナビタイム社員同席のもと歩数設定・報告説明会を初めて開催するなど、効率的な対応を図った。個別の法人からの問い合わせ対応については、更なる改善が必要。

2. 協賛、後援等（順不同敬称略）

1) 特別協賛 9 法人

日産自動車株式会社	愛知機械工業株式会社
株式会社日産フィナンシャルサービス	花王株式会社
花王ハートポケット倶楽部	カラマンス・セジャトラ社
デロイト トーマツ グループ	富士ソフト株式会社
株式会社ワールドディング	

2) 協賛 6 法人

株式会社エトウ	株式会社スマート・アイ
三菱商事株式会社	三菱電機システムサービス株式会社
メタネックス・ジャパン株式会社	リコー社会貢献クラブ・FreeWill

3) ウォーキング・パートナー 21 法人

アリックスパートナーズ・アジア・エルエルシー	
株式会社エトウ	ギャップジャパン株式会社
弁護士法人兼六法律事務所	株式会社スマート・アイ
株式会社セールスフォース・ジャパン	株式会社ソニックガーデン
中外製薬労働組合	デロイト トーマツ グループ
日産自動車株式会社	愛知機械工業株式会社
株式会社日産フィナンシャルサービス	
日産モータースポーツ&カスタマイズ株式会社	
株式会社パデコ	富士ソフト株式会社
株式会社フジタ	三菱電機システムサービス株式会社
森乳スマイル倶楽部	ユーロモニターインターナショナル
リコー社会貢献クラブ・FreeWill	株式会社ワールドディング

4) 協力 9 法人（物品やサービスによるご協力）

ALLIE	伊藤忠商事株式会社
株式会社えがおホールディングス	大塚製薬株式会社
ギャップジャパン株式会社	株式会社ナビタイムジャパン
ミマスクリーンケア株式会社	ミモザガーデン自由ヶ丘
ほか1社	

5) 後援 12 法人（広報でのご協力）

株式会社えがおホールディングス	公益社団法人ガールスカウト日本連盟
外務省	ギャップジャパン株式会社
女性社長.net	東京都

一般社団法人日本ウォーキング協会 HONEY
UN Women（国連女性機関）日本事務所
一般財団法人ユナイテッド・スポーツ・ファウンデーション
横浜マリノス株式会社 ライブラン株式会社

6) 学生パートナー 4 団体

I.S.A（日本国際学生協会） 学生団体 Infinite Connection
学生医療支援 NGO GRAPHIS 学生国際協力団体 SIVIO 東海支部

3. 広報実績

1)新聞／雑誌、ウェブメディア掲載等

掲載・放映日	メディア名	報道内容
2022/7/18	「コマラジ」(狛江市のラジオ放送) FM 85.7 MHz	「CAREパッケージ」や歩く国際協力「Walk in Her Shoes」などを掘り下げる形で団体・活動紹介
2022/11/25	ビーチライフスタイル・マガジン「HONEY」	ハイキングイベントの記事で歩く国際協力「Walk in Her Shoes」に言及
2023/3/2	Work Master (ワークマスター)	歩く国際協力「Walk in Her Shoes 2023」
2023/3/2	New's Vision (ニューズビジョン)	歩く国際協力「Walk in Her Shoes 2023」
2023/3/2	時事ドットコム ニュース	歩く国際協力「Walk in Her Shoes 2023」紹介
2023/3/16	ビーチライフスタイル・マガジン「HONEY」	3/26 チャリティウォーク告知、歩く国際協力「Walk in Her Shoes 2023」紹介

2)アンバサダー

横浜 F・マリノスオフィシャルチアリーダーズ トリコロールマーメイズ

後援企業の横浜マリノス株式会社様のご協力により、本年のキャンペーン・アンバサダーに、横浜 F・マリノスオフィシャルチアリーダーズ トリコロールマーメイズが就任。キャンペーン 1 次募集期間中の 1 月 31 日（火）に開催した YouTube ライブへの出演や、SNS での発信、報告動画でのメッセージ寄稿を通じて広報協力をいただいた。

3)ジュニア・アンバサダー

公益社団法人ガールスカウト日本連盟所属 中・高校生 53 名

毎日 8,000 歩以上を目標に、途上国の女性・女子に想いを馳せて歩き、歩数登録を行う「好きな時間、好きな場所で歩く」に参加した他、ガールスカウトメンバーの所属する団（チーム）内での周知や、地域、個人でのキャンペーン広報活動に尽力した。3 月 26 日（日）開催のチャリティーウォークイベントへの参加や、自主企画イベントの企画実施、積極的な「C」の写真の投稿による参加を通じて、キャンペーンに大きく貢献した。

【ジュニア・アンバサダーからのコメント】（一部抜粋³⁾）

・水汲みのために学校へ行かず、働かなくてはならない女性や女の子の気持ちを身に染みて感じることができました。今後も、そのような環境で生活している人々のことを思い、今自分が与えられている環境を最大限に活かして活動して参りたいと感じました。ありがとうございました。

・毎日の積み重ねが誰かを 1 人でも多く救うことができることを願って活動を続けることが出来ました。これからも自分でできることから積極的に行動していきたいと思います。

・たくさん歩きました。苦しい状況で生活している人たちがいることを常に思い、少しでも役に立てることがあるか、自分にできることは何かを考えて過ごしていけたらと思います。

³⁾ コメント全文はキャンペーン WEB ページに掲載：

https://www.careintjp.org/walk_in_her_shoes/info/wihs2023_ja_comment.html

・世界中の女の子たちのことを考えながら歩くこと、自分が歩くことで苦しんでいる女の子たちを助けることが出来ていると考え、疲れたなという時でも歩くことが出来ました。この活動をもっと多くの人に広めるためにこれからも毎年活動していきたいと思います。

・日本ではほとんどの道路が綺麗に整備されているので、毎日歩くということは決して難しいことではない。しかし、毎日飲み水確保のために女性たちが歩いている道は舗装がされていなかったり、危険を伴う道であることがほとんどだと思う。そのような環境に置かれているたくさんに女性たちに、自らもが歩いて思いを馳せることができてよかった。とても良い体験をすることが出来た。

4)法人向けセミナー

開催日	主催	イベント名	講演内容	参加(名)
12月19日	ユーロモニターインターナショナル	N/A	団体紹介、WiHS紹介（オフライン開催）	20
4月12日	リコー社会貢献クラブ・FreeWill	ランチセッション	団体紹介、水とジェンダーの課題、WiHS紹介（オフライン開催）	41
4月15日	リコー社会貢献クラブ・FreeWill	LiveRunイベント①	団体紹介、WiHS紹介、ジェンダー課題など（オフライン開催）	26
4月25日	日産自動車株式会社	歩く国際貢献WiHS 2023オンラインセミナー	団体紹介、水とジェンダーの課題、WiHS紹介（オフライン開催）	85
5月14日	リコー社会貢献クラブ・FreeWill	LiveRunイベント②	途上国の水問題など（オンライン開催）	23

4. 「好きな時間、好きな場所で歩く」

－キャンペーン期間中「彼女たち」の身になって歩き、日々の歩数を登録して参加する方法－

申込み手続き後、途上国で女性や女子が水汲みに要する 8,000 歩（1 日当たりの平均）を目安に歩く方法。オンライン上で歩数を手動で登録するか、歩数計アプリをダウンロードし歩数を自動連携する。参加者同士でチームを結成し、オンライン上で他のチームの歩数やランキング表示を確認することもできる。

毎月抽選で 2 名・2 チームに月間歩数賞として協賛企業の賞品を贈った他、キャンペーン終了後には、WiHS ナイスウォーク賞として、歩数上位個人 100 名から抽選で 10 名、一人当たりの 1 日の平均歩数上位 10 チームから抽選で 2 チームに賞品を贈呈した。

エントリー費に加え、特別協賛企業の協力により、歩数に応じた寄付を行った。歩数 500 歩につき 1 円の寄付としたが、目標値に対して歩数が伸びなかったため、4 月末から 5 月末までの期間中の 16 日間、日付を限定して 100 歩につき 1 円、写真 1 枚につき 300 円の寄付に拡充した。

キャンペーン期間中は、参加者へ定期通信（html メール）を隔週で配信し、キャンペーンの進捗や、途上国における水や貧困の問題、当財団の支援活動に関する発信を行った。

※以下、Peatix で申し込んだ参加者のみの分析結果（n=821）

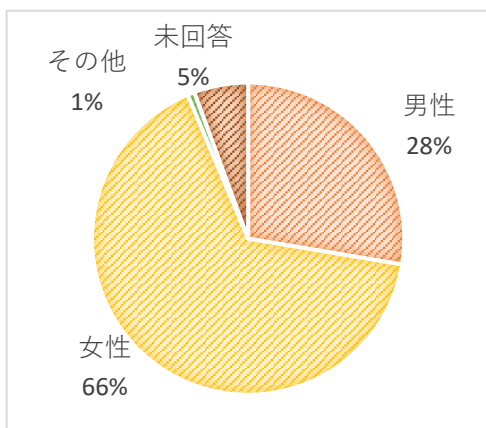
ジュニア・アンバサダーおよびウォーキング・パートナーによる社員参加除く。

1)参加者の性別と年代

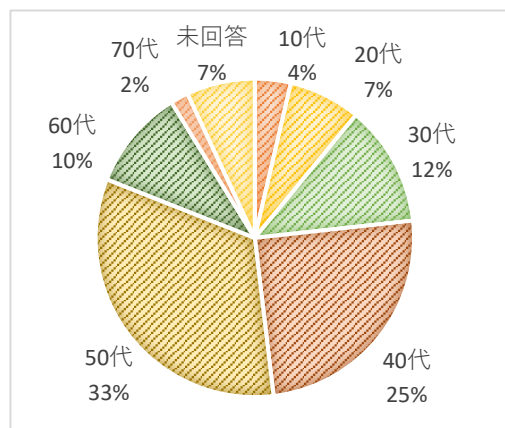
* 性別割合は、女性の割合が 66%となり昨年同様、女性の割合が多い。男性の割合は昨年度 22%から 28%に増加した。

* 年代別割合は、昨年同様 50 代の参加者が最も多いが、10 代から 40 代まででおよそ半数を占めている。年代バランスは多様化傾向にあるが、学生パートナーの減少により、20 代の参加者が昨年度 14%から 7%に減少した。若年層の参加を増やすことが課題である。

a) 性別



b) 年代

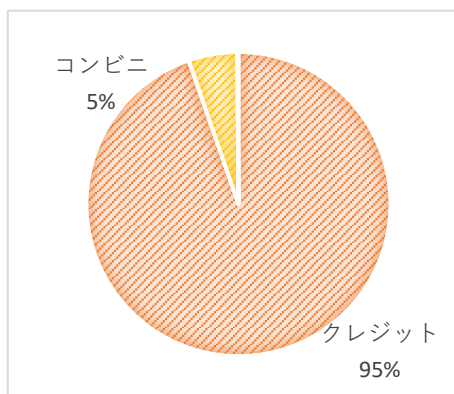


2) 申込方法

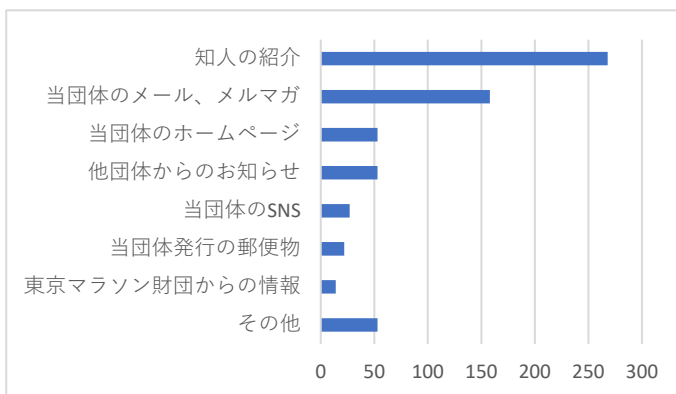
* 一般参加者の申込経路は、外部の決済サイト peatix を通しての申し込みがほぼ 100%で、内 95%がクレジット払いだった。

* 申込のきっかけは、知人の紹介が最も多く、次に当団体発行のメールやメールマガジンとなっている。

a) 申込経路



b) 申込のきっかけ (キャンペーンを知ったきっかけ)

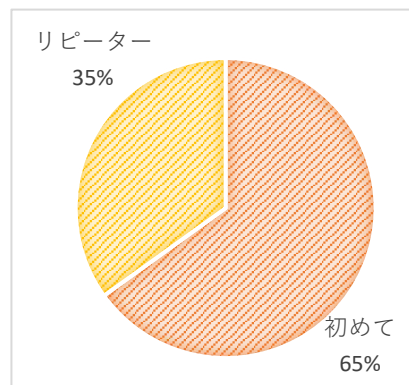


3) リピーター率

* 初めての参加者は 65%で、昨年の 75%より減少。

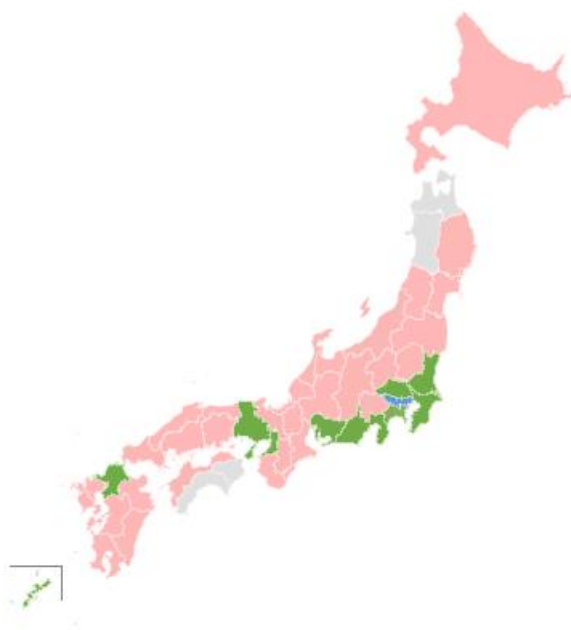
* リピーター率は、25%から 35%に増加した。

* 一方、右記とは別に、ウォーキング・パートナーによる参加者については、昨年のリピーター率が 23%に対し今年は約 50%となった。



4) 参加者の居住地

東京都	287	栃木	3
神奈川	126	岩手	3
埼玉	57	山梨	3
千葉	48	富山	3
大阪	29	岡山	3
沖縄	24	長崎	3
福岡	20	宮崎	3
広島	14	福島	2
茨城	13	滋賀	2
愛知	13	鹿児島	2
静岡	13	熊本	2
兵庫	12	山形	1
北海道	9	岐阜	1
宮城	9	福井	1
新潟	5	三重	1
京都	5	和歌山	1
群馬	4	鳥取	1
長野	4	島根	1
石川	4	香川	1
奈良	4	佐賀	1
山口	4	大分	1
愛媛	4	海外	37
		未回答	37



* 例年同様、東京在住の参加者が圧倒的に多い。

* 43 都道府県からの参加となり、全国的な参加となっている。昨年から沖縄からの参加者が多い。

* 海外からの参加者は 14 か国にわたる。約 6 割がアメリカからの参加であった。

5) 「好きな時間、好きな場所で歩く」参加者へのアンケート結果

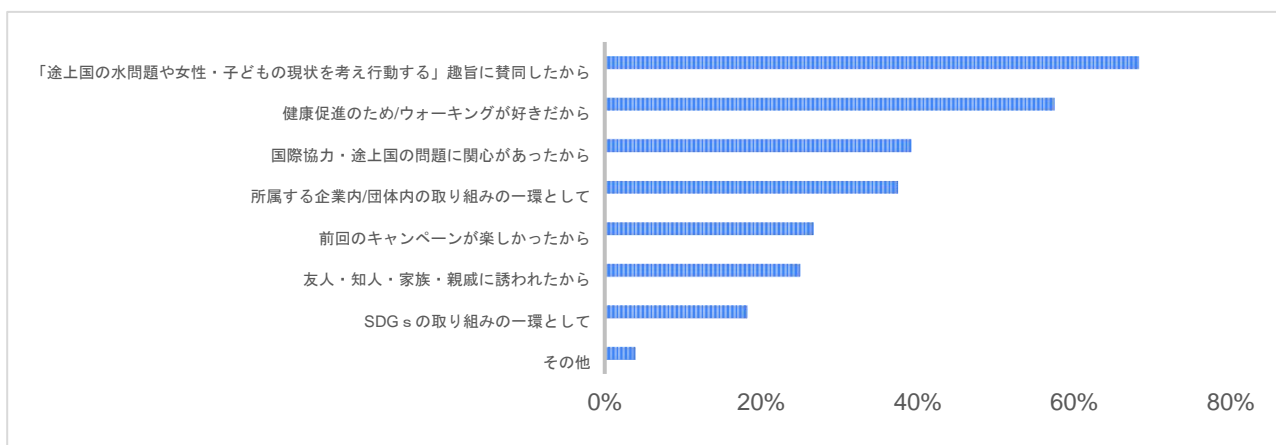
来年度以降の Walk in Her Shoes キャンペーンに反映するため、キャンペーン期間終了後に参加者へ選択式・記述式のオンラインアンケートを実施した。

※アンケートの記述回答と当財団からのコメントについては、キャンペーン WEB ページ⁴で公開する。

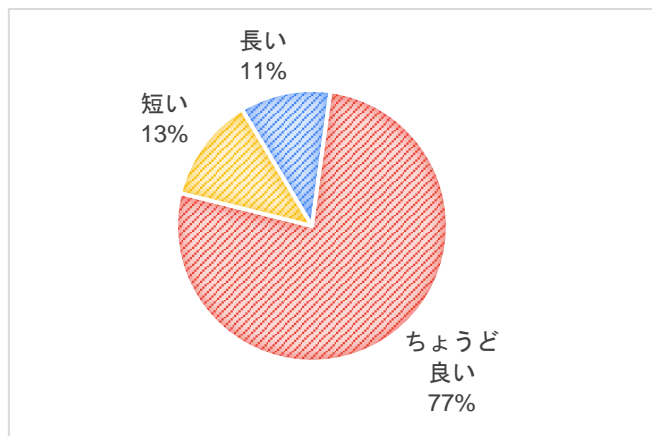
参加者数【2,697 人】 回答者数【118 人】 アンケート回収率【4.3%】

アンケート回収方法：キャンペーン終了後、参加者を対象に、オンラインアンケートへの協力を依頼した。

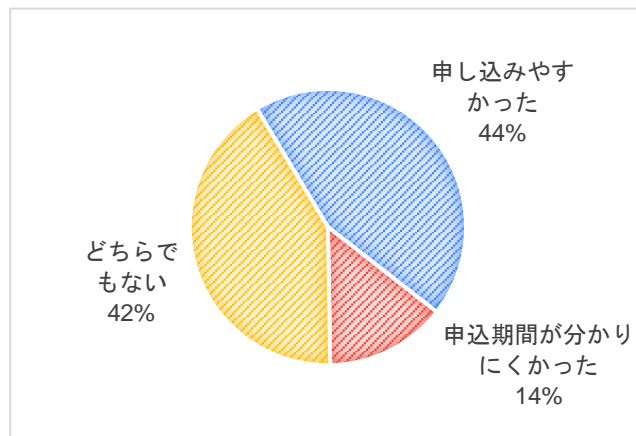
1. 「Walk in Her Shoes 2023」にご参加いただいたきっかけを教えてください。(複数回答可)



2. 約 3 ヶ月という、キャンペーン期間の設定はいかがでしたか？

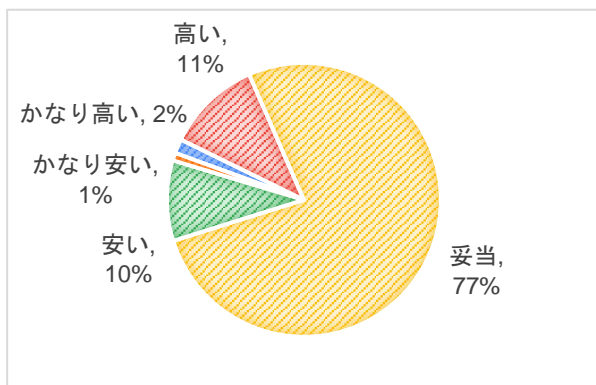


3. 今年のキャンペーンは、申込期間が前倒しとなり、1次募集期間(12/12-2/12)と2次募集期間(2/13-3/14)に分けての募集となりました。申込期間の設定はいかがでしたか？

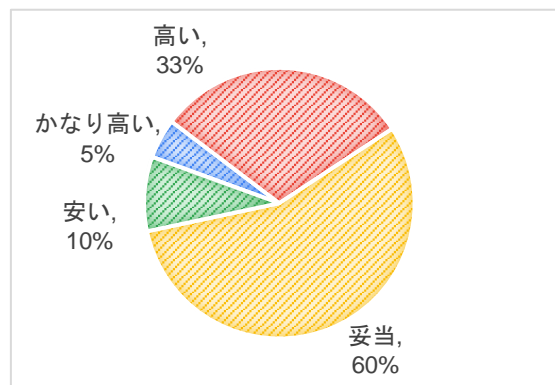


⁴ アンケートの記述回答と当財団からのコメント：https://www.careintjp.org/walk_in_her_shoes/info/answer_2023.html

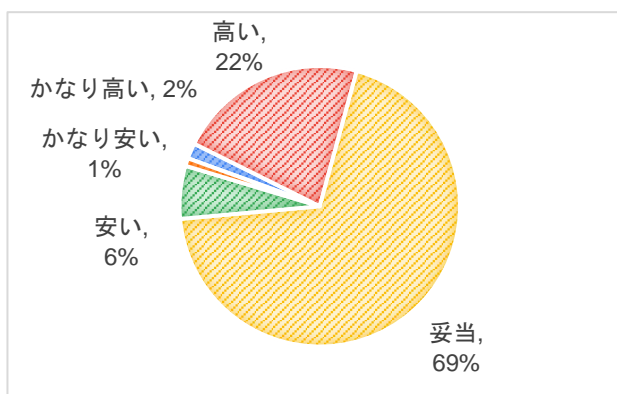
4. キャンペーン参加費 2,000 円（リピーター様優先申込価格）について、どう思いますか？



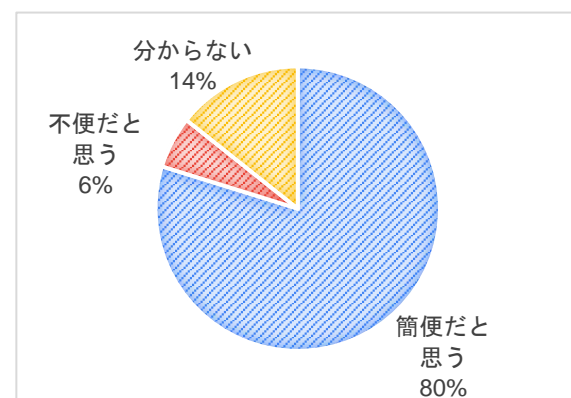
5. キャンペーン参加費 3,000 円（1次募集価格）および 3,500 円（2次募集価格）について、どう思いますか？



6. キャンペーン参加費 1,500 円（大学生以下の学生）について、どう思いますか？

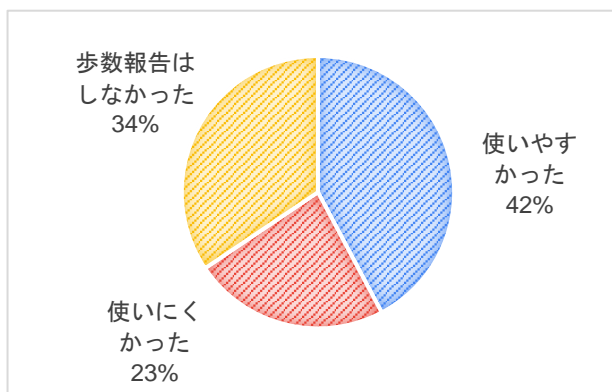


7. お申し込み・決済の方法は簡便でしたか？



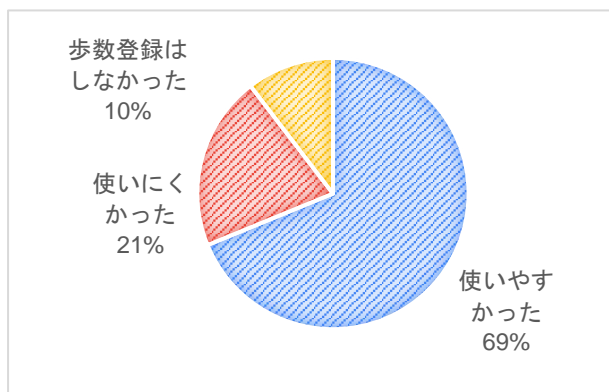
8. （歩数報告「手動入力」の方へ）歩数報告ページ（初期設定、歩数報告、ランキングが見られるページ）は使いやすかったですか？

*「歩数報告はしなかった」には、自動連携で歩数報告をした人の回答が含まれています。

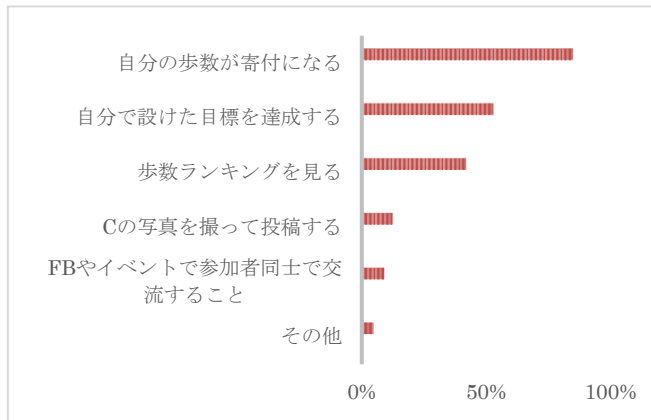


9. （歩数報告「自動連携」の方へ）歩数計アプリ（初期設定、記録一覧、ランキングページ等）は使いやすかったですか？

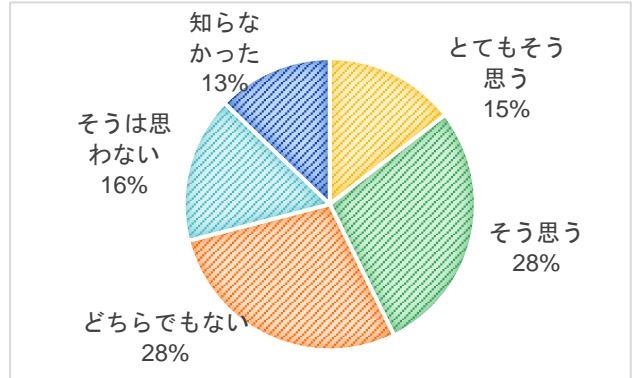
*「歩数報告はしなかった」には、手動入力で歩数報告をした人の回答が含まれています。



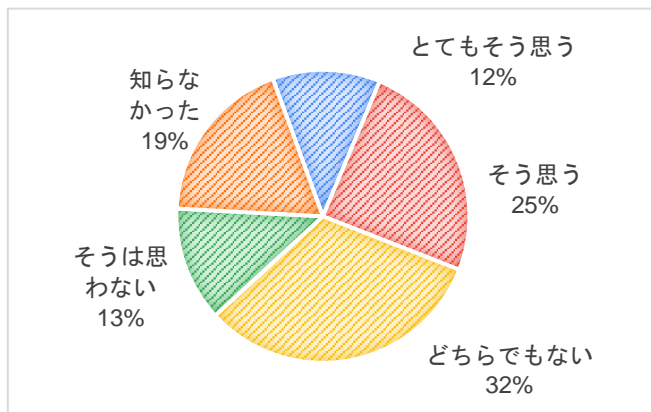
10. キャンペーン期間中、あなたの歩くモチベーションとなったことはなんですか？（複数回答可）



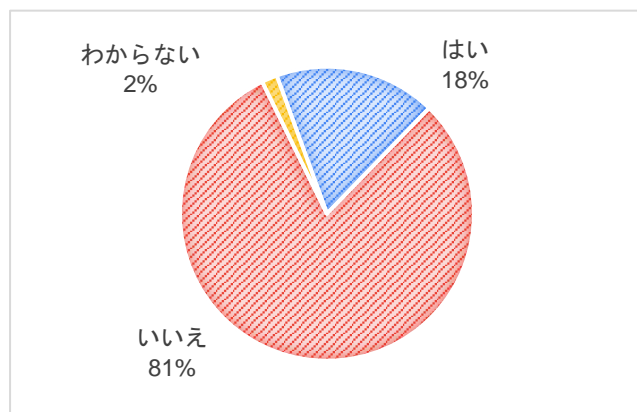
11. 月間歩数賞（抽選）や、キャンペーン終了後の歩数賞（歩数ランキング上位者）の設定は、歩くことへのモチベーションにつながりましたか？



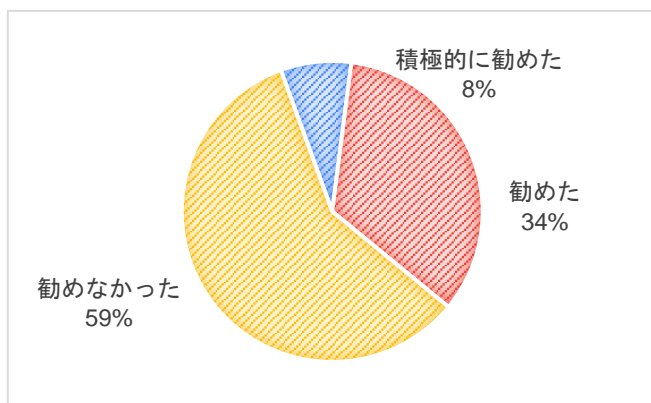
12. 参加者限定の Facebook グループや、キャンペーンの Facebook、Instagram、Twitter は、3 か月間のモチベーションにつながりましたか？



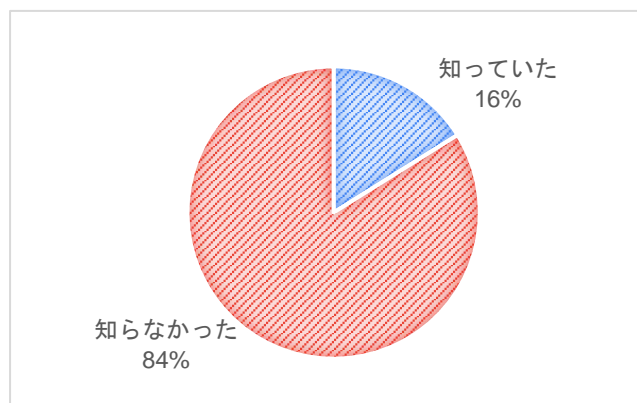
13. 「C」の写真を撮って SNS で投稿しましたか？



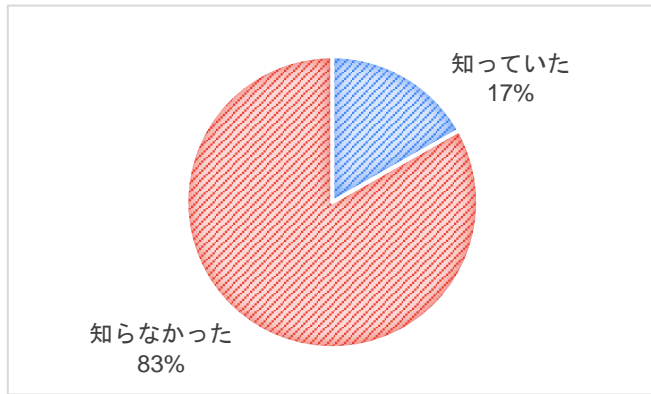
14. キャンペーン期間中、「Walk in Her Shoes 2023」について、対面や SNS 等を介して友人・知人に勧めましたか？



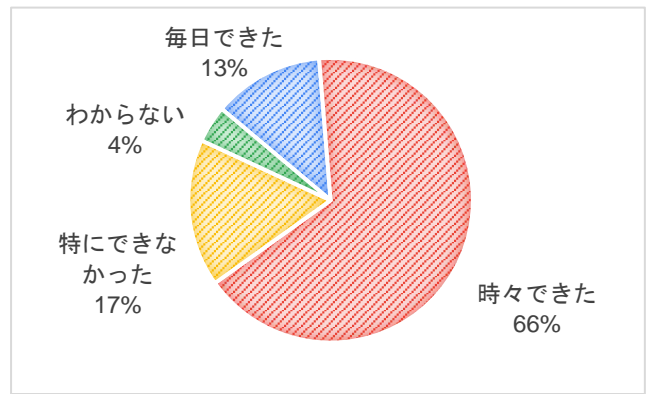
15. 今年は、歩く国際協力「Walk in Her Shoes 2023」のアンバサダーとして、横浜 F・マリノス オフィシャルチアリーダーズ トリコロールマーマイズの皆さんに就任いただき、キャンペーンを広めていただきました。ご存知でしたか？



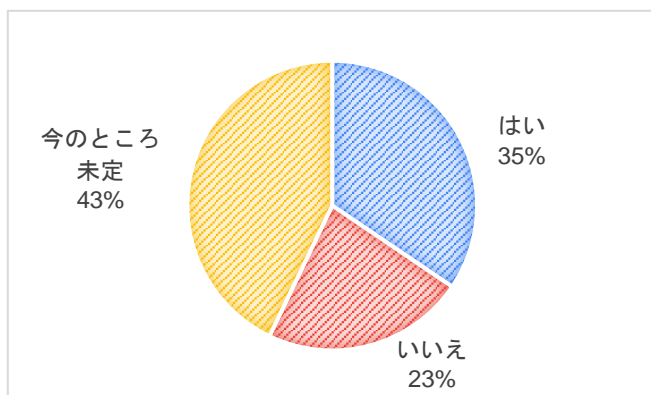
16. 歩く国際協力「Walk in Her Shoes 2023」のジュニア・アンバサダー（全国各地のガールスカウトに所属する中高生 53 名）が、各地でこのキャンペーンを広める活動をしていただけのご存知でしたか？



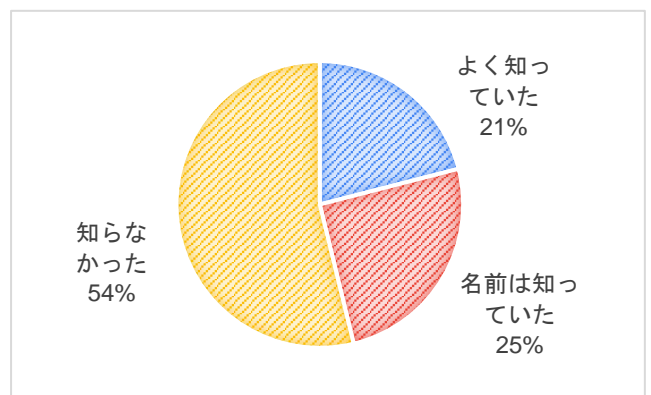
17. 「Walk in Her Shoes」は、途上国の現状を知っていただく啓発キャンペーンとしても実施しています。本キャンペーンを通じて、水汲みに行かなければならない「彼女の身になって歩く」を意識することはできましたか？



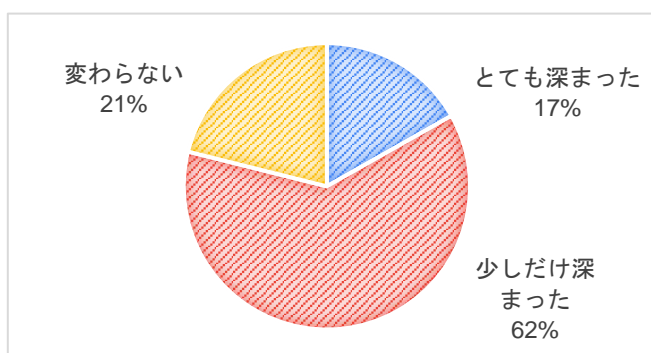
18. 歩く国際協力「Walk in Her Shoes」では、キャンペーン期間中、東京都内でチャリティーウォークイベントも実施しています。今後、イベントにも参加してみたいと思いますか？



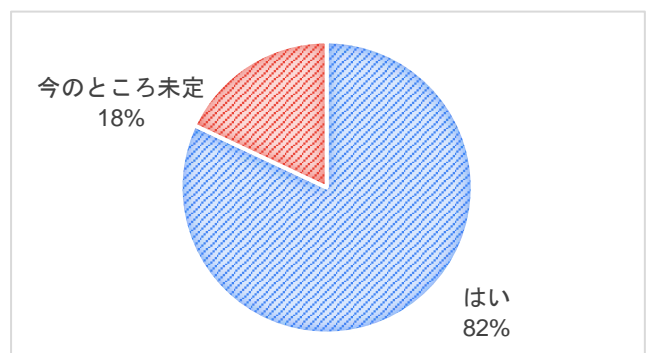
19. 「Walk in Her Shoes 2023」参加前に、国際協力 NGO 「CARE」のことをご存知でしたか？



20. 「Walk in Her Shoes 2023」をきっかけに、国際協力 NGO 「CARE」について理解は深まりましたか？



21. 来年の歩く国際協力「Walk in Her Shoes 2024」、「好きな時間、好きな場所で歩く」に参加したいと思われますか？



【アンケート「来年のキャンペーン実施に向けご意見・ご感想」のコメント】（一部抜粋⁵）

・途上国の女性と子供の支援と、自分自身の健康促進の両方がかなうキャンペーンなので、ぜひ来年以降も継続していただきたいと思います。

・素晴らしい活動だと思っているので、ぜひ、毎年続けて下さい。応援しています！

・歩くことが寄付になるのは簡単で面白いキャンペーンのため、みんなの日常会話で今日はどのくらい歩いた？等の会話が出来るといいと思う。末永く続けてください。歩ける限り参加します。

6) 「好きな時間、好きな場所で歩く」ウォーキング・パートナーによる歩数実績一覧

法人名	チーム名	合計歩数 (A)	歩数報告者数 (B)	1人あたりの平均歩数 (A/B)	寄付相当額 (A/500歩)	エントリー数	歩数報告率
アリックスパートナーズ・アジア・エルエルシー	AlixPartners	9,803,082	27	363,077	¥19,606	47	57%
株式会社エトウ	ETO	12,423,771	31	400,767	¥24,848	32	97%
ギャップジャパン株式会社	ギャップジャパン	2,707,330	5	541,466	¥5,415	20	25%
弁護士法人 兼六法律事務所	兼六ウォーク倶楽部	7,855,502	18	436,417	¥15,711	19	95%
株式会社スマート・アイ	smart-i	7,527,019	23	327,262	¥15,054	25	92%
株式会社セールスフォース・ジャパン	Salesforce Japan	96,677	1	96,677	¥193	1	100%
株式会社ソニックガーデン	SGウォーク	25,533,928	55	464,253	¥51,068	55	100%
中外製薬労働組合	CWU	23,701,527	43	551,198	¥47,403	43	100%
デロイト トーマツ グループ	Deloitte Tohmatsu Group	14,347,629	31	462,827	¥28,695	41	76%
日産自動車株式会社	NISSAN ※関連会社様含む	337,379,953	529	637,769	¥674,760	697	76%
株式会社パデコ	Team PADECO	10,110,063	18	561,670	¥20,220	25	72%
富士ソフト株式会社	チームFSI	67,114,577	119	563,988	¥134,229	128	93%
株式会社フジタ	Fujita International Branch	16,812,761	26	646,645	¥33,626	36	72%
三菱電機システムサービス株式会社	MELSC	47,253,199	62	762,148	¥94,506	123	50%
森乳スマイル倶楽部	森乳スマイル倶楽部	34,464,153	48	718,003	¥68,928	58	83%
ユーロモニターインターナショナル	Euromonitor Walkers	11,059,357	19	582,071	¥22,119	20	95%
リコー社会貢献クラブ・FreeWill	リコー社会貢献クラブ・FreeWill	246,803,672	426	579,351	¥493,607	510	84%
株式会社ワールディング	worlding!	12,370,504	27	458,167	¥24,741	31	87%

※日産自動車関連会社は、愛知機械工業株式会社、株式会社日産フィナンシャルサービス、日産モータースポーツ&カスタマイズ株式会社の3社。

⁵ アンケートの記述回答と当財団からのコメント：https://www.careintjp.org/walk_in_her_shoes/info/answer_2023.html

5. ウォークイベントに参加する

―途上国の女性や女子が水汲みのために一日に歩く約6キロを歩くチャリティーウォークイベント―

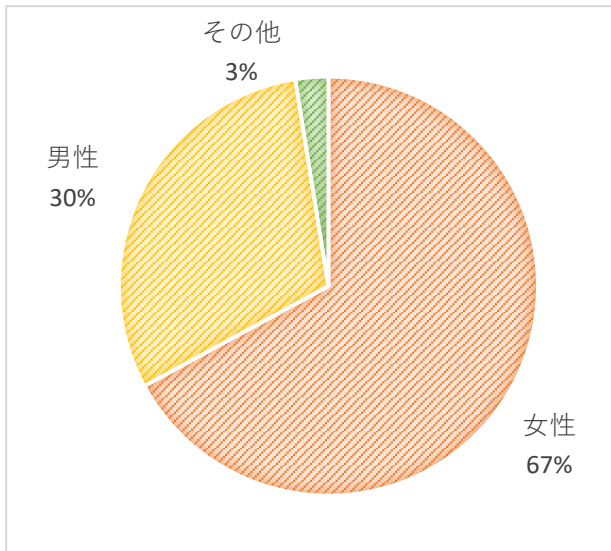
世界の水問題・ジェンダー課題に向き合う!「世界水の日」さくらチャリティーウォーク	
日時	2023年3月26(日)
場所	ITOCHU SDG s STUDIO Radio Station を起点に、明治神宮外苑や迎賓館前、青山霊園等の都内の名所を回る6kmコース
参加者数	82名

伊藤忠商事株式会社様のご協力のもと、港区にある ITOCHU SDG s STUDIO Radio Station をスタート・ゴール地点として、昨年と同様、明治神宮外苑や迎賓館前、青山霊園等の都内の名所を巡る約6kmのコースとした。当日はあいにくの天候で、雨脚が強まるなか、ほとんど当日キャンセルなく82名の参加者が参加。途中3か所の公園で、CAREの活動紹介や途上国の水問題・ジェンダー問題を考えるクイズ、水運び体験のアクティビティを行った。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止としていた、希望者が集まって歩くグループウォークを再開。当日は、CAREスタッフのほか、11名のボランティアとともに運営を行った。

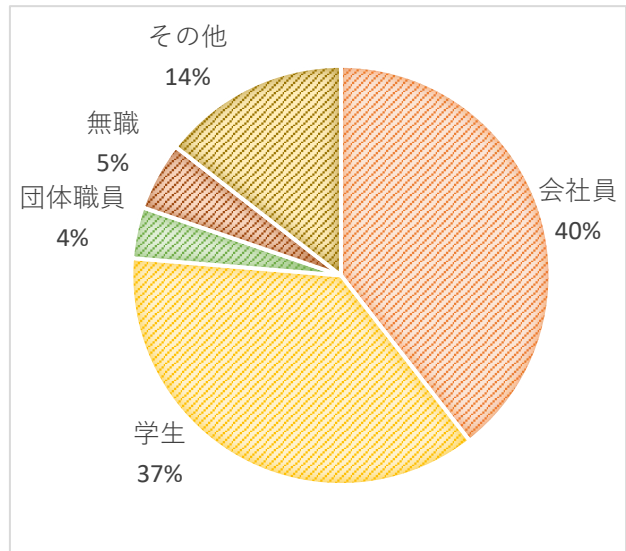


《アンケート結果》 対象者数 82名 回答者数 78名（回収率 95%）

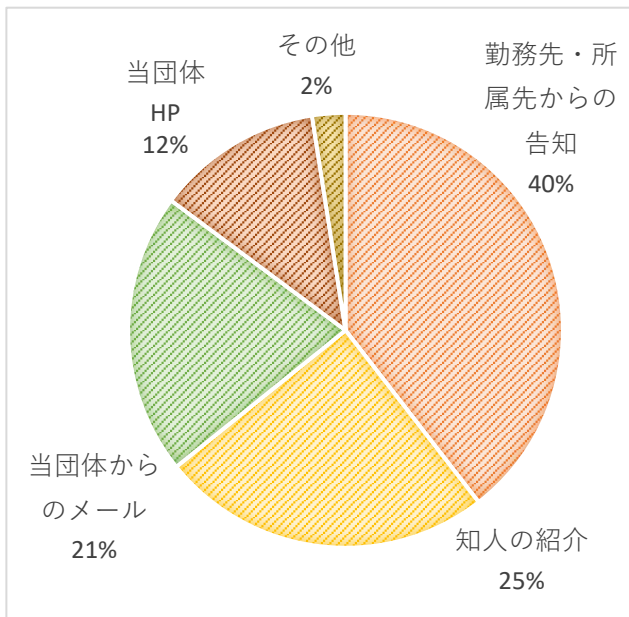
1. 参加者の性別



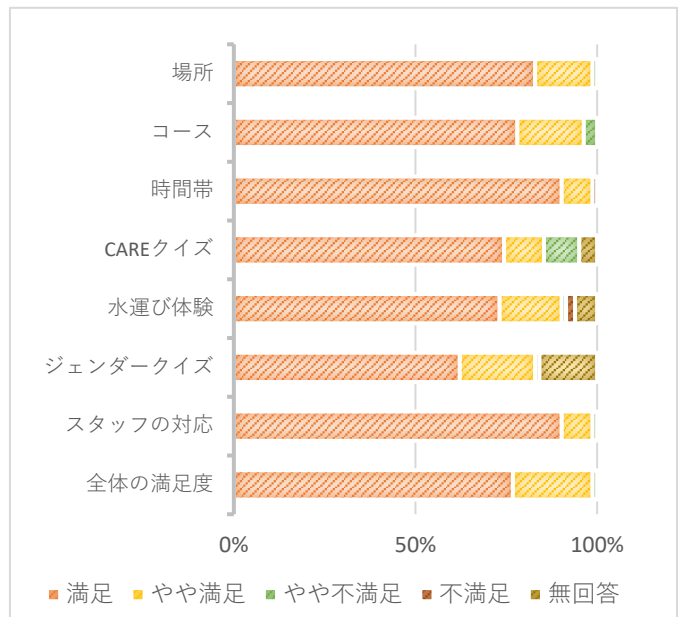
2. 参加者の職業



3. 参加したきっかけ



4. イベントの満足度



【参加者のコメント（抜粋）】

- ・ 歩くことが寄付につながるとてもいいイベントでした。
- ・ CARE の活動について知る機会になりました。
- ・ 水運び体験で、途上国の女の子の気持ちが少し理解できました。
- ・ 学びと楽しみが両立されたイベントで良かったです。
- ・ 途上国と日本で使える水の量が違うことがわかりました。

【九州限定企画】歩く国際協力 Walk in Her Shoes 2023 in 九州	
日時	2023年3月8日（火）～ 3月22日（火）
場所	オンライン
参加者数	183名

歩く国際協力「Walk in Her Shoes 2023」の関連イベントとして、九州の5つのCARE支援組織（ケア・サポーターズクラブ佐賀・大分・熊本・鹿児島・北部九州）が合同で、本年度3回目となる歩く国際協力「Walk in Her Shoes 2023 in 九州」を開催。佐賀県の42法人にも特別協賛を頂き、九州在住の方々を中心に183名もの参加を得た。15日間にわたり、それぞれの場所で毎日6キロ（約8,000～10,000歩）を目安に歩いて頂き、イベント終了後には、参加者の91.3%に当たる計167名から歩数報告があり、過去最多の計12,639,461歩を記録した（昨年度比356万歩増）。また、歩数報告を頂いた方を対象に、合計歩数上位者より順に地元企業様のご提供商品やCAREグッズなどの賞品を進呈した。

参加者の方々からは、「直接会って話すことは出来なくても、同じ地球の上を歩いている人間として、どこかでは通じ合えるような気持ちになりました」や「歩くことが誰かのためになると思って一步一步歩みを進めると、周囲の景色も違って見えてくるようでした」などの声をいただいた。



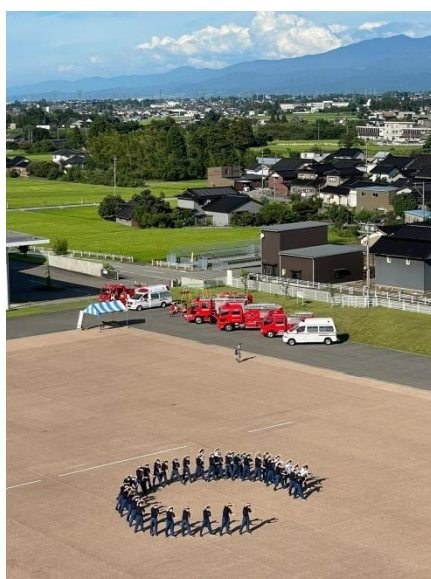
6. 「C」の写真を投稿する

CARE の「C」を撮影し、「#（ハッシュタグ）歩く国際協力」を付けて、Facebook、Twitter、Instagram に写真を投稿。協賛企業の協力により、写真1枚につき100円の寄付となった。期間中、1,737枚の写真が寄せられた。また、期間中投稿数の伸び悩みをうけ、4月末から5月末までの期間中の16日間、日付を限定して写真1枚につき300円の寄付に拡充。当該期間中の投稿枚数は974枚に上り、全体の56%が16日間で得られた。

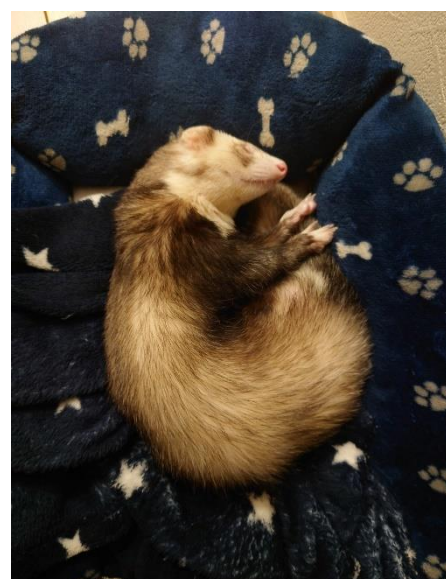
投稿された写真の中からフォトコンテストを行い、以下の5つの特別賞を写真投稿者に授与した。



アイデア賞



ナイスポーズで賞



よく見つけたで賞



いい景色で賞



みんなでスマイル賞

7. 自分でイベントを企画して実施する

参加者自らがイベントを企画して寄付を集めたり、キャンペーンや世界の水問題・貧困問題について啓発・広報を目的としてイベントを企画して実施する参加方法で、5件の協力を得た。
(実施件数は昨年と同数)

1) Walk in Her Shoes 2023 in 阿波岐原森林公園	
主催者	ガールスカウト宮崎県第20団
日時	2023年4月16日
場所	宮崎県阿波岐原森林公園市民の森 西園
参加者数	15名
概要	女の子が毎日遠くまで水汲みに行かなければならないという現実や、世界の貧困問題について考えながら、広さ4,300㎡の花菖蒲園や運動場の周囲を歩いた。また、世界の水問題を身近に感じてもらうために、関連するゲームを行いながら学んだ。



2) Let's try!!! 歩く国際協力 PartIII～明るい未来のために～	
主催者	ガールスカウト岩手県第20団
日時	2023年4月23日
場所	岩手県北上市えづりこ古墳公園～和賀川グリーンパーク～
参加者数	60名
概要	水汲みのために毎日6キロ歩く女の子のことを考えながら、えづりこ古墳公園から和賀川グリーンパークを遠回りしながら歩きつつ、ゴミ拾いを行った。マイクロプラスチックによる世界の水質汚染について学び、ペットボトルのリングを使ったクラフト作りにも励んだ。参加者は6歳から70代まで幅広い世代で、地元のライオンズクラブの協賛により、参加者全員の合計歩数100歩につき10円を、ケア・インターナショナル ジャパンへの寄付とした。



3) あなたが見つける歴史の道 @新富町	
主催者	ガールスカウト宮崎県第2団
日時	2023年4月29日、30日
場所	4月29日：宮崎県新富町 追分分校 体育館 4月30日：宮崎県高千穂町 高千穂峡、天岩戸神社他
参加者数	30名
概要	<p>4月29日は雨天のため、ウォークイベントの代わりに体育館で、Walk in Her Shoes のジュニア・アンバサダーが中心となり、県内のガールスカウトや来日中の台湾のガールスカウトと一緒に、世界の水問題に関するクイズやアクティビティを行い、女の子が毎日遠くまで水を汲みに行かなければいけないという現実や貧困問題について理解を深めた。</p> <p>また、新富町の神武天皇にゆかりのある湯之宮神社や梅で有名な湯之宮座論梅、日本遺産の新田原古墳群をクイズで紹介、新緑園というお茶屋さんの新茶とほうじ茶の試飲を行い、地元の紹介を行った。</p> <p>4月30日は、晴天に恵まれ、主催者とジュニア・アンバサダー、地元の中学生在が、台湾のガールスカウトと一緒にパワースポットとして有名な高千穂町を約1万歩歩いた。参加費はケア・インターナショナル ジャパンに寄付された。</p>



4) 姜濤 チャリティー ウォーク 2023	
主催者	姜濤日本応援団
日時	2023年4月30日
場所	皇居周辺
参加者数	6名
概要	皇居周辺の約6キロを歩き、途中、北の丸公園で休憩し、途上国の水に関するミニクイズを行った。集めた参加費を全て、ケア・インターナショナル ジャパンへの寄付とした。



5) 彼女たちと同じ距離を歩いてみよう	
主催者	ガールスカウト富山県連盟
日時	2023年5月21日
場所	高岡市内の名所・旧跡を巡るコース
参加者数	25名
概要	水汲みのために、教育を受ける時間や様々なチャンスを犠牲にしている途上国の女性と女子の現状を考えながら、彼女たちと同じ距離約7kmを歩いた。途中、2Lのペットボトルの水を持ち歩くことも行った。また、「C」の写真を撮りながら高岡市内の名所、旧跡を巡り、「歩く国際協力」を広め。参加費の一部は、ケア・インターナショナル ジャパンに寄付された。



8. オンラインイベント

キャンペーン期間中、関連イベントとして、以下のオンラインイベントを実施した。

1) 公式アンバサダー・トリコロールマーメイズさんをゲストに YouTube ライブ	
日時	2023年1月31日（火）19:30～20:00
場所	オンライン（YouTube ライブ） https://www.youtube.com/watch?v=dGOBv1X98b8

ケア・インターナショナル ジャパンと歩く国際協力「Walk in Her Shoes 2023」キャンペーンについて説明した後、トリコロールマーメイズのキャプテン Kao さんとバイスキャプテン Runa さんにご登場いただき、日頃の活動について、また途上国の女の子への思いについてお話いただいた。

リアルタイム視聴はおよそ 41 名、アーカイブ視聴数は 276 回となった（6月27日現在）。



2) 「楽しく、健康的に、日常生活の中で歩く」ために。プロのスポーツトレーナーをゲストに YouTube ライブ	
日時	2023年3月7日（火）19:30～20:00
場所	オンライン（YouTube ライブ） https://www.youtube.com/watch?v=qcalinGnczc&t=562s

キャンペーン開始前夜に、プロのスポーツトレーナーである武井佑樹さんをお招きして、「楽しく、健康的に、日常生活の中で歩く」ための秘訣を凝縮した YouTube ライブを開催した。

キャンペーンの参加方法のひとつ

「好きな時間、好きな場所で歩く」の楽しみ方についてお話した後、武井さんにご登場いただき、健康的に歩くための極意や、ご自宅のできるストレッチなどをご紹介いただいた。リアルタイム視聴はおよそ 54 名、アーカイブ視聴数は 197 回となった（6月27日現在）。



3) LiveRun とのコラボレーションイベント	
日時	2023年4月22日(土) 8:50~
場所	オンライン(LiveRun アプリ)

ライブラン(LiveRun)は、アプリをスマートフォンにダウンロードするだけで、遠く離れた人たちとも繋がりながら歩く(走る)ことができるプログラム。当日は、ライブランのMCが皆さんのウォーキング(ランニング)の様子を実況しつつ、当財団が東ティモールで実施する「農業用水改善事業」のプロジェクト・マネージャーを務める伊藤洋子が現地より参加して、活動状況や現地の様子をお話した。参加者は156名。



4) 学生パートナー交流会	
日時	2023年6月2日(金) 19:00~20:30
場所	オンライン(Zoom)

歩く国際協力「Walk in Her Shoes 2023」に参加いただいている学生パートナーの参加者様限定の交流会を開催した。

学生パートナー4団体の内、3団体7名の参加を得て、各団体の代表者の方による団体紹介や、少人数グループに分かれて現在の活動状況を共有しながら交流を図った。



9. キャンペーン制作物

【2023 オリジナルTシャツ】



【ちらし】

本体キャンペーン

Walk in Her Shoes 2023 in 九州

さくらチャリティウォーク

歩 国際協力
Walk in Her Shoes 2023
参加費 3,800円～5,310円

彼女たちの未来を、
歩くことで変えよう。

参加者募集中!

歩 国際協力
Walk in Her Shoes 2023
参加費 3,800円～3,220円

彼女たちの未来を、
歩くことで変えよう。

申込取寄せ表

氏名	性別	年齢	参加費	申込日	参加日

世界の水問題・ジェンダー問題にむき合う
『世界水の日』
さくらチャリティウォーク
2023年3月26日(日)
Walk in Her Shoes
彼女の身になって歩く

多くを歩かせよう

参加方法

好きな時間、好きな場所で歩く

参加費特等する

ワークショップに参加する

参加イベントを企画する

CJの家族をSNSでシェア!

参加料 2,500円 (税込) / 3,000円 (税込)

申込用紙

FAX 05-9950-1375 申込用紙 05150-6-14008 公財国際協力タラ インターナショナル ジャパン

参加者	参加費	申込日	参加日
小学生以下	2,500円 (税込)	2023年2月10日(日)～2023年2月14日(木)	2023年3月26日(日)
小学生以上	3,000円 (税込)	2023年2月10日(日)～2023年2月14日(木)	2023年3月26日(日)

参加方法

“彼女”の気持ちになって、好きな時間、好きな場所で歩く

参加費特等する

CJの家族をSNSでシェア!

参加料 2,500円 (税込) / 3,000円 (税込)

申込用紙

FAX 05-9950-1375 申込用紙 05150-6-14008 公財国際協力タラ インターナショナル ジャパン

参加方法

好きな時間、好きな場所で歩く

参加費特等する

ワークショップに参加する

参加イベントを企画する

CJの家族をSNSでシェア!

参加料 2,500円 (税込) / 3,000円 (税込)

申込用紙

FAX 05-9950-1375 申込用紙 05150-6-14008 公財国際協力タラ インターナショナル ジャパン

10. 寄付金使用用途 ケア・インターナショナル ジャパン活動概要

本キャンペーンへのエントリー費および寄付金は、途上国や紛争・災害地域において、困難な状況にある女性と女子の自立を支援することで貧困削減を目指す、ケア・インターナショナルジャパンの活動全般に活用されます。当財団では現在、主に以下の活動に取り組んでいます。

※以下の「例えば、100万円のできるごと」は一例であり、実際には収益金が各事業に100万円ずつ充当されるわけではありません。

1) 東ティモール：農業用水改善事業

*事業目標：

貯水タンクや点滴灌漑設備などを設置し、山間部の水源から村、そして畑へと水を引くことで、安定的な農作物の収穫を目指します。さらに、主に女性や子どもたちの役割とされる水汲みや水撒き作業を不要にすることで、女性の農作業負担を軽減します。

*主な活動：

1. 水源の保全と、貯水タンクおよび水路を造成
2. 農地で水を効果的に利用できるよう点滴灌漑を設置
3. 点滴灌漑設備を維持管理するための水管理委員会の設置、能力強化
4. 水管理委員会およびコミュニティの人々を対象にしたジェンダー平等研修



例えば、100万円のできるごと

例えば、1つの農民グループで、点滴灌漑設備を維持するための水管理委員会を設置し、能力強化を行うことができます。さらに、農民グループメンバーと対象地域のコミュニティの人々へ、ジェンダー平等研修を行うことができます。

2) 東ティモール：学習教材「ラファエック」を通じた自立支援事業

*事業目標：

農村部の子どもの発育・教育状況と世帯全体の生活生計能力の向上を図り、自立的な地域社会を目指します。

*主な活動：

1. 基礎的な計算能力と識字能力の向上
2. 農業生産の管理と家族の健康管理の改善
3. 起業と小規模金融サービスについての住民の理解の促進
4. 幼児の健康や発育、子どもを学校に通わせることの保護者の理解の促進



例えば、100万円のできるごと

例えば、現地語の教科書が普及していない小中学校で補助教材として使われている学習雑誌「ラファエック」を、およそ6,000冊配ることができます。

3) タイ：理数系（STEM*）教育を通じたリーダーシップ育成事業（第2期）

*「STEM（システム）」とは、Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Mathematics（数学）の頭文字をとった言葉。

*事業目標：

男女の区別なく青少年のリーダーシップ、職業的スキルや社会で生きていく力を高めることで、青少年の将来の学業および職業機会を広げることを目指します。

*主な活動：

1. 青少年（特に女子）を対象とした研修と職業活動の実施
2. 教師を対象とする研修の実施



例えば、100万円のできるこ

例えば、学習環境が厳しい中高生およそ200人が2日間のキャンプに参加し、討論やゲーム、ロールプレイを通じてリーダーシップを学ぶ事ができます。

4) ウクライナ危機緊急支援事業

2022年2月24日に始まったロシアのウクライナ侵攻による人道危機をうけて、日本を含む世界のCAREが連帯し活動を展開しています。ウクライナ国内および周辺国での活動実績がある地元パートナー団体とも連携しながら、緊急支援に取り組んでいます。



*主な活動：

1. 食糧、水、衛生用品、そして現金などの緊急支援物資の配布
2. ウクライナの人々への心理的影響とトラウマを緩和するための心のケア
3. その他、今後、ウクライナの国内避難民および難民が必要とする支援

例えば、100万円のできるこ

例えば、ウクライナ国境へ避難した母親100人に、おむつ、おしりふき、粉ミルク、離乳食、魔法瓶などの、赤ちゃんの世話に必要な育児用品を提供することができます。

たくさんの皆さまのご参加、そしてご支援をいただきまして、ありがとうございました。
「Walk in Her Shoes 2024」も、よろしくお願いいたします。



[本報告書に関するお問い合わせ]
公益財団法人 ケア・インターナショナル ジャパン
担当：指原

〒171-0031 東京都豊島区目白 2-2-1 目白カルチャービル 5 階
Office : 03-5950-1335 | fax : 03-5950-1375
email : wihs@careintjp.org | www.careintjp.org